



一昭和医科大学歯科病院の理念一

患者本位の医療
先進的医療の推進
医療人の育成

発行責任者 病院長 榎 宏太郎
編集責任者 広報委員長 長谷川 篤司
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1

TEL 03-3787-1151 (代表)

ホームページ: <https://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

口からはじまる健康長寿

補綴歯科 診療科長・教授 馬場 一美

非常に短い梅雨が明け、連日猛暑が続いております。今年は例年以上に厳しい暑さとなっておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。どうか熱中症や体調の変化には十分ご注意くださいのうえ、無理のない日々をお過ごしくださいようお願い申し上げます。

本年4月、本学は「昭和大学」から「昭和医科大学」へと名称を改め、医系総合大学として新たなスタートを切りました。また、歯学部は2027年に設立50周年、大学全体としては2028年に創立100周年という大きな節目を迎えることとなります。これまで本学を支えてくださった地域の皆さま、そして患者の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今後も時代の要請に応える質の高い医療の提供に努めてまいります。

近年の医療技術の進歩により平均寿命は延び、医療の目的は「長く生きること」から「よりよく生きること」、すなわち健康寿命の延伸へと変化しつつあります。まさに、“It’s not how long you live, but how well you live.”（「どれだけ長く生きたかではなく、いかに良く生きたかが大切である」）

ローマ時代の哲学者・セネカ）の言葉が示すとおりです。

言うまでもなく、口腔は生命活動を支える最も基本的かつ重要な器官の一つで

す。野生動物は歯を失えば生き延びることはできません。人間においても、咀嚼、会話、そして笑顔といった日常の営みを支える口腔の健康は、人生の質に直結します。それはすなわち、「より豊かに生きること」を支える確かな基盤であると私たちは考えます。

昭和医科大学歯科病院では、こうした理念に基づき、単なる治療にとどまらず、患者さま一人ひとりの生活の質（QOL）を見据えた医療の提供に取り組んでおります。心に寄り添う歯科医療機関として、これからも信頼される存在であり続けるよう努力してまいります。

今後とも、皆さまの変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



- P1 口からはじまる健康長寿
- P2 診療科紹介：補綴歯科
- P3 新入職員 ご挨拶
- P4 患者満足度調査結果報告、編集後記

記事見出しの色分けをいたしました。

患者さん向け、医療機関向け、お知らせなど

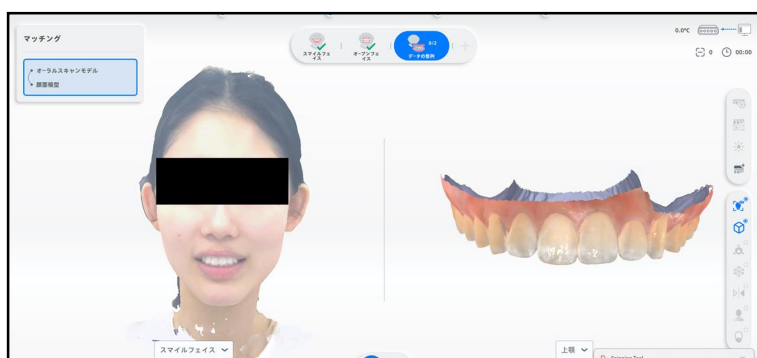
補綴歯科外来では、最先端のデジタル技術を活用し、精度の高い革新的な補綴治療を患者さんに提供しています。デジタル技術を取り入れることで、従来の治療法に比べてより安全かつ簡便な処置が可能となり、患者さんの負担軽減につながります。この方法で製作される補綴装置は耐久性や審美性に優れており、新たな時代の治療法として注目されています。

1. 口腔内スキャナーとデジタル技術による精密な補綴装置の製作

口腔内スキャナー（光学印象）により、従来よりも迅速かつ快適な型取りが可能で、患者さんの待ち時間を短縮し、苦痛を軽減します。型取りのデータは、モニター上で視覚的に確認することができるため、患者さんと一緒に処置内容を確認し、口腔内の情報を共有することができます。クラウン、ブリッジ、インプラントの上部構造などの補綴装置の製作は、デジタル技術の活用により、精密かつ高品質な製品を提供いたします。

2. 笑顔と調和する補綴装置の製作

デジタル技術を用いた治療は、審美的な面でも優れた効果を発揮します。顔貌のデータと歯列データをマッチングすることにより、より自然で笑顔と調和する美しい補綴装置を設計し、製作することが可能です。



3. 顎の動きも考慮した先進治療

食事をする時など、患者さんの顎の動きは複雑で個人差があるため、各々で顎の動きも考慮する必要があります。顔貌・歯列・骨のデータに加えて、顎の動きのデータを採得することで、より機能的で調整量の少ない補綴装置の製作が可能となります。



補綴歯科外来は日本歯科専門医機構に認定された機関で、経験豊富な専門医が所属し、患者さんに質の高い歯科治療を提供しています。お口の健康とその美しさにおいて、私たちにご相談いただければ幸いです。

新入職員 ご挨拶

本年度4月より、口腔機能管理科助教（歯科）として入職いたしました、田上理沙子和申します。

大学、臨床研修医、大学院と昭和医科大学に11年お世話になっております。大学院では高齢者に対するインプラント治療による口腔機能の変化に関する研究を行ってまいりました。日々の診療では、外来だけでなく附属病院の病棟や介護施設など、さまざまなライフステージにおける高齢者の口腔機能を維持向

上できるよう、日々取り組んでおります。

今年度からは職員として、臨床はもちろんのこと、研究や教育にも一層尽力してまいります。昭和医科大学の更なる発展に寄与できますよう未熟ながらも精一杯努力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

口腔機能管理科 助教（歯科） 田上 理沙子

この度、昭和医科大学歯科病院の職員の一員として働く機会をいただき、心より光栄に思います。学生時代に矯正治療の奥深さに触れ、患者さんの笑顔を創り出す矯正歯科に魅力を感じました。知識も経験も未熟ではありますが、患者さんが安心して治療を受けられるよう、常に丁寧な真心ある対応を心がけてまいります。

歯科医療は日進月歩であり、最新の知識や技術を積極的に学び続けることが重要だと認

識しております。研究活動にも積極的に関心を持ち、日々の臨床疑問を解決する姿勢を大切にしたいです。将来的には、自身の経験や知識を教育の場で還元できるよう、学びを深めていきたいと考えております。

そして、チームの一員として、患者さんにとって最善の治療を提供できるよう、精一杯努めてまいります。

矯正歯科 助教（歯科） 澁坂 和大

本年度4月より顎顔面口腔外科に医局員として入局いたしました、内田百音と申します。

昭和医科大学歯学部を卒業後、昭和医科大学歯科病院の顎顔面口腔外科にて臨床研修をさせていただきました。顎顔面口腔外科の先生方が患者さまに寄り添いながら治療を行う姿を見て、ぜひ医局の一員として働きたいと思うようになりました。

患者さまの苦痛に寄り添い、各診療科の先

生方や看護師、薬剤師、地域の医療従事者の方々と連携をとり、患者さまが快適に暮らせるよう至誠一貫の精神のもと、より良い医療を提供できるように努力してまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

顎顔面口腔外科 助教（歯科） 内田 百音

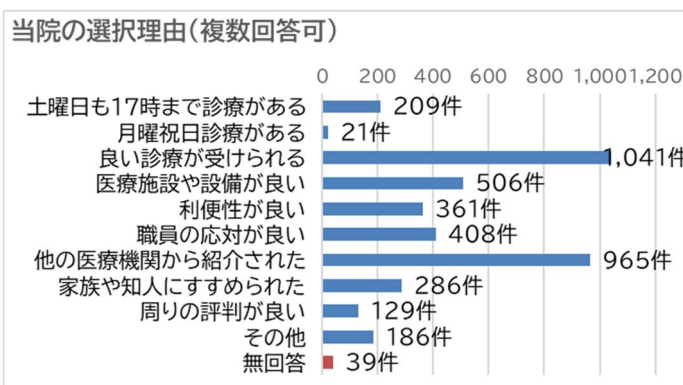
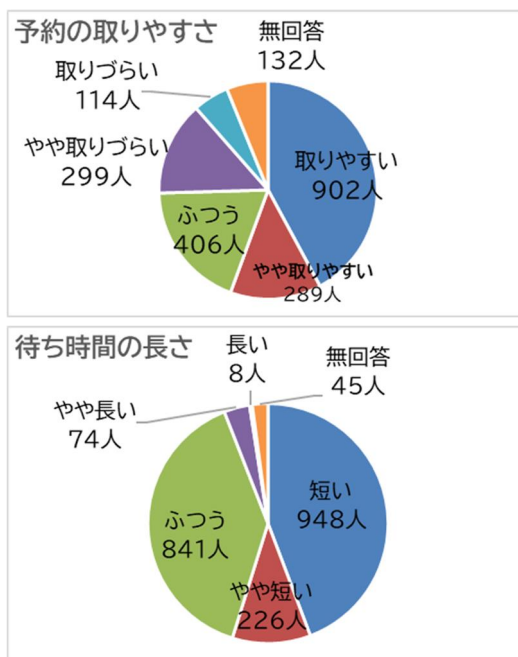


患者満足度調査結果報告

患者サービス向上委員会

2025年1月25日～2月7日の間で外来患者満足度調査、3月3日～3月15日の間で入院患者満足度調査を実施しました。アンケート回収枚数につきまして、外来患者満足度調査は2,142枚、入院患者満足度調査は48枚のご回答をい

ただしました。調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。皆様よりいただきました貴重なご意見は、今後のサービスの向上に活かし、より一層安全かつ質の高い医療を目指して改善に努めて参ります。



総合的に100点満点中何点になりますか

総合評価	回答数	平均点
2024年度	1,900	87.8
【参考】2023年度	1,455	87.5
【参考】2022年度	1,127	87.1

【その他のご意見(抜粋)】

- ・待合室(4階)のソファがテープで直されている。

〔回答〕ご指摘いただきありがとうございます。6月に座面シートの張り替え作業を行いました。是非ご利用ください。

- ・治療後の歯の予後が大変良くこれからも当院に通いたいと思います。先生方の治療にはとても満足しています。

〔回答〕この度は当科に受診していただき、また温かいお言葉をいただきありがとうございます。

編集後記

今年は梅雨の途中から真夏のような暑さが続き、夏の訪れが例年より早く感じられますね。皆さん、元気にお過ごしでしょうか？七夕や夏祭りなど、季節のイベントも楽しみな時期ですが、熱中症や夏バテには要注意。こまめな水分補給と適度な休息を心がけて、暑さに負けず元気に夏を乗りきりましょう！(Y.K)

